2023 年 1 月

SSTG1 Dub® リリースのお知らせ

株式会社カンバスは、SSTG1 シリーズ初の**吹替業務制作支援ソフト「SSTG1 Dub®」**をリリースしました。

＜SSTG1 Dub の特長＞

1. Word 形式（.docx）縦書きの吹替台本が生成できます。

- セリフやト書きをソフトで入力すれば、面倒な縦書きの吹替台本（Word ファイル）が一発で出力可能。Word で一から台本を作るのに比べ、約 30%の労力削減となります。※当社独自調査による。
- エクスポートした台本は通常の Word ファイルですので、自由に手直しできます。
- 吹替台本にも VO 台本にも対応可能です。
- 吹替台本（Word ファイル）を SSTG1 Dub にインポートすることはできません。

2. 字幕制作ソフト SSTG1 シリーズとほぼ同じユーザーインターフェイス/操作性で、これまでのユーザー様に簡単にお使いいただけます。

- 多重起動、最終チェック、sdbd(吹替プロジェクトファイル)検索、新再生モード/SSTG1 モード切替え等、SSTG1 シリーズの基本的な便利機能はほとんど搭載しています。
- 映像を見ながらスポッティングし、セリフ、ト書き、テロップなどを入力します。
- 5 トラック制を採用。複数の登場人物が同時に話すシーンなどにも対応できます。
- **台本プレビューウィンドウ**搭載。Word 縦書き台本とほぼ同じイメージでプレビューと編集ができます。

3. Roll＆Scene リスト、香盤表、CSV ファイル（QC 用）ほか、多彩な出力データをご提供します。

吹替え版の制作を様々な角度から支援します。

- **Roll＆Scene リスト**…Roll や Scene ごとの in、out のタイムコードと登場人物の一覧表。出演者（声優）管理などにご活用いただけます。
- **香盤表**…Word の縦書き台本にそのまま使えるよう、右から左に登場人物が書かれた表です。
- **CSV ファイル（クオリティチェック用）**…吹替プロジェクトファイルの内容をリスト出力。クライアント様のクオリティチェックや、役名ごとのセリフチェック、テロップ一括チェック等にご活用いただけます。
- **テロップリスト**…テロップだけを抽出してリスト出力します。

4. SSTG1 シリーズ字幕データ（.sdb）のインポート/エクスポート機能を搭載しています。

- 字幕版が先に制作されている場合は字幕プロジェクト（.sdb）を SSTG1 Dub にインポートし吹替台本用に調整、またはその逆など、字幕⇔吹替間でデータを活用することにより、効率アップが図れます。
- 「テロップエクスポート」機能により、吹替台本中のテロップを字幕プロジェクト（.sdb）にエクスポートし、焼付け用テロップデータを作ることも可能です。

5. 録音機能を搭載しています。 ※サポート対象外

セリフの長さや言い回し等を実際に耳で聴いてチェックできます。

6. SSTG1 Dub 単体でのご購入のほか、SSTG1 シリーズのオプションとしてもご購入いただけます。

SSTG1 Pro、NetSSTG1、SSTG1 Lite2 をお持ちのお客様は、当該ソフトの有償オプションとしてもご購入いただけます。SSTG1 Dub を単体でご購入いただくよりお安くなります。

7. チケット制のソフトです。チケットの有効期間中は常に最新のアップデートが提供されます。

- SSTG1 Dub をご利用いただくにはチケットが必要です。初期購入時には 365 日チケットがついています。2 年目以降、ご利用を継続される際はチケットをお買い求め下さい。
- チケットの利用日数は、使用開始時のパスワード入力画面にパスワードを入力した日からカウントが開始されます。**SSTG1 Dub を使用しない日もカウントされますのでご注意下さい。**
- SSTG1 Pro、NetSSTG1、SSTG1 Lite2 のオプションとしてご購入いただく場合は、各ソフトのチケット有効期間中 SSTG1 Dub をお使いいただけます。別途 SSTG1 Dub のチケットをご購入いただく必要はありません。
- ソフト初回起動時、およびチケット利用開始時にインターネット上でのライセンス認証が必要となります。

<認証可能台数>

〇新規購入の場合　：個人のお客様　3 台　※台数はチケットごとにリセットされます。
　　法人のお客様　制限なし
〇オプション購入の場合　：オプションをつけた製品の認証可能台数

<ドングル>

1 ライセンスにつき 1 本

- SSTG1 Dub は、ソフトをインストールしただけでは起動することができず、必ずドングルという USB 形式のキーが必要になります。ドングルは、ソフト購入後、弊社よりお送りさせていただきます。
- SSTG1 シリーズのオプションとして購入される場合は、すでにお持ちのドングルで SSTG1 Dub を起動できるようになりますので、SSTG1 Dub 用ドングルの貸与はありません。

<ご購入お申込み方法>

まずはカスタマーサポートまでお問い合わせ下さい。ご購入形態に応じたお見積書をお送りさせていただきます。

e-mail：**sales@canvass.co.jp**
電　話：**03（6811）0806**

<推奨 PC スペック>

<新再生モード>

OS	Windows10（日本語）	HDD 空き容量	10GB 以上
Display	解像度 1920×1080 以上	メモリ	8GB 以上
CPU	Intel Core i5 以上		

<SSTG1 モード>

※SSTG1、SSTG1 Lite と同等の推奨 PC スペックとなります。TV チューナー付の PC は避けてください。

OS	Windows10（日本語）	HDD 空き容量	2GB 以上
Display	解像度 1920×1080 以上	メモリ	8GB 以上
CPU	Core 2 Duo 以上		

※SSTG1 Dub のご利用には Microsoft Word がインストールされている必要があります。Word 台本は「.docx」で出力されるため、Microsoft Word は「.docx」がサポートされているバージョンが必要です。

<録音機能動作環境>

以下のデバイスがインストールされている PC で動作します。

- Realtek High Definition Audio
- High Definition Audio

<価格>

個人のお客様

販売形態	初期費用			チケット費用		
	初回ライセンス有効期限	税抜価格	税込価格		税抜価格	税込価格
SSTG1 Dub単体	初回起動時から365日間	¥200,000	¥220,000	365日チケット	¥14,800	¥16,280
NetSSTG1オプション	各ソフトの現行チケット有効期限まで	¥80,000	¥88,000	Netのチケット代のみ		
SSTG1 Lite2オプション		¥120,000	¥132,000	Lite2のチケット代のみ		
SSTG1 Proオプション		¥100,000	¥110,000	Proの年間保守費のみ		

法人のお客様

販売形態	初期費用			チケット費用		
	初回ライセンス有効期限	税抜価格	税込価格		税抜価格	税込価格
SSTG1 Dub単体	初回起動時から365日間	¥300,000	¥330,000	365日チケット	¥19,800	¥21,780
NetSSTG1オプション	各ソフトの現行チケット有効期限まで	¥250,000	¥275,000	Netのチケット代のみ		
SSTG1 Proオプション		¥250,000	¥275,000	Proの年間保守費のみ		

※主要追加機能は法人のお客様向けのみに販売予定です。
※法人のお客様でも個人事業主と同等と判断した場合、個人のお客様向け価格で販売することがあります。

<SSTG1 Dub 機能一覧表>

（2019年4月現在）

			SSTG1Dub
認証可能台数			個人:3台 法人:制限なし
ドングルの有無			○
基本編集機能	画面操作	sdbdファイル（吹替プロジェクトファイル）の作成	○
		スポッティング機能	○
		5トラック制	○
		多重起動	○
		録音機能	○(サポート対象外)
		ト書き、テロップ、役名、セリフの入力・削除	○
		セリフ原文、テロップ原文の入力・削除	○
		sdbd検索（フォルダ内全プロジェクトファイル検索）	○
		セリフ検索・原文検索・コメント検索・ト書き/テロップ検索・役名検索	○
		ピッチ調整	○
		最終チェック	○
		役名一括登録 / トラック一括役名設定	○
		コメント機能	○
		ブックマークの設定	○
		セリフの分割・結合	○
		セリフ枠（吹替BOX）拡大レイアウト	○
		台本プレビューウィンドウ	○
		役名別セリフ表示設定	○
		トラック別セリフ表示設定	○
		ガヤトラック機能	○
	吹替台本編集	Wマーク（タイミングが重複するセリフ自動検出）	○
		手動Wボタン（タイミングが重複していないセリフにWマークを手動付与）	○
		タイムスタンプ（台本へのタイムコード挿入）	○
		Roll in設定 / Scene in設定	○
		(VO)マーク（Voice Over）	○
		(f)マーク（Filter）	○
		(B)マーク（Back）	○
		台本マークのカスタムボタン	○
		台本記号：SE・ME・M・AD・ON・OFF・[ ]ボタン	○
		台本記号：カスタムボタン	○
		台本記号：字下げ（スペース）設定	○
		シーン区切り線自動挿入 / ロール区切り自動改ページ	○
		ルビ・斜体設定	○
		点線・二重線挿入	○
	import	字幕プロジェクトファイル(sdb)	○
		オプション① セリフ枠空欄インポート （sdbの原文＋字幕を原文ウィンドウにインポート）	○
		オプション② テロップインポート （sdbのBトラックの字幕をEトラックにテロップとしてインポート）	○
		台本(txt)	○
		吹替プロジェクトファイル(sdbdファイル統合用)	○(予定)
	export	縦書き吹替台本(Word)	○
		縦書きVO台本(Word)	○
		テロップリスト(csv)	○
		Roll&Sceneリスト(csv)	○
		香盤表(csv)	○
		字幕プロジェクトファイル(sdb)	○
		①通常エクスポート（A～Dトラック→Aトラック Eトラック→Bトラック）	○
		②テロップエクスポート（A～Eトラック→Aトラック テロップ→Bトラック）	○
		③トラック選択エクスポート （A～Eの任意のトラックをsdbのA/B各トラックへ）	○
		CSVファイル（クオリティチェック用）	○
	再生可能映像ファイル	MPEG1	○
		WMV ※SSTG1モードのみ	○
		MOV(h.264,AAC) ※新再生モードのみ	○
		MP4(h.264,AAC) ※新再生モードのみ	○
有償オプション			なし

<SSTG1 Dub ご利用時の留意点>

① 新再生モードでスクイーズの映像を通常再生する際、セーフティラインがフラッシングすることがあります。今後のアップデート時に修正予定です。

② 新再生モード利用時、キー操作のスピードによっては、再生への遷移、2 倍速再生への遷移、逆再生への遷移、2 倍速逆再生への遷移の際に、波形上の赤カーソルが止まることがあります。その際は再度、当該操作キーの入力を行ってください。この仕様につきましては、今後設計変更による改善を予定しています。

③ MOV、MP4 の音声コーデックの動作保証は現状 AAC のみとなります。

④ MP4 の映像はプロファイルが多岐に渡るため、一部の映像は利用できない場合があります。

⑤ 24 フレームの映像ファイルを使用する場合、新再生モードではフレームタイプ「24P」を選択すれば自動的に 23.976fps か 24fps かを判断し、対応します。SSTG1 モードでは、23.976fps の場合は「24Fr」、24fps の場合は「24P」を選択して下さい。

⑥ 23.976fps の映像ファイルを利用して sdbd ファイルを作成する場合や、作成した sdbd ファイルを開く際は、再生モードとフレームタイプが下記の通り一致するよう注意して下さい。一致しない場合は、必要に応じてフレームタイプ変換を行うか、または再生モードを切り替えて下さい。

【再生モードとフレームタイプの対応】 ※23.976fps 映像の場合

新再生モード ・・・・ 24P

SSTG1 モード ・・・ 24Fr

⑦ 音声のサンプリングレートを上げることにより、音圧を細かく表現でき、波形データにより正確性を持たせるようになっています。その分、波形データ(wav ファイル)のサイズが大きいため、ストレージのあまりない PC で作業をされる場合には、波形データを定期的に削除することをおすすめいたします。

⑧ キャプチャーボードでテープメディアよりキャプチャーした映像に関して、フレームの整合性のとれない映像ファイルが作成される可能性があります。そのような映像の場合、ソフト内で処理を加えるため、波形ウィンドウ上の映像再生の動作が若干鈍くなる可能性がございます。

⑨ 新再生モードにおいて、DV コーデックの.avi ファイルや WMV を利用することも可能ですが、現状、1～2 フレーム、映像に対して音声が後ろにずれる不具合が発生しているため、現時点では AVI 対応、WMV 対応を謳っておりません。本件については現在修正作業を実施中で、今後対応を謳う予定となっております。

⑩ 新再生モードにおいて 1 フレーム再生で音が出ない場合、下記の手順で PC のサウンドの設定を変更してください。

1) PC のコントロールパネルを開き、[サウンド]－[再生]タブを開く。
2) [サウンド]－[再生]タブに存在している再生デバイス（スピーカーなど）を右クリック→プロパティでプロパティ画面を開く。
3) [拡張]タブを選択し、「すべてのサウンド効果をオフにする」にチェックを入れる。

⑪ SSTG1 モード（映像再生の DirectShow モード）でご利用いただける映像フォーマットは、MPEG1、WMV のみです。

⑫ Windows のディスプレイ設定でテキストのサイズを「小（100%）」「中（125%）」「大（150%）」以外に設定した場合は、Windows のスケーリング機能（画面や表示領域の広さに合わせて自動的に拡大・縮小する機能）に対応できず、表示が崩れたり文字が切れたりすることがあります。

⑬ mpeg1・WMV の映像を開いた際に、新再生モードでスムーズに再生できない場合、[設定]－[ユーザー設定]－[詳細]タブの「MPEG-1 と WMV の映像ファイルには DirectShow を使う」にチェックを入れていただくことで

自動的に Direct Show（SSTG1 モード）を使って再生が行えます。

⑭ Windows10 の正式サポートを行っておりますが、新再生モードにおいて一部の MOV 形式の映像の倍速再生および逆再生・倍速逆再生時に音割れがする問題を確認しており、こちらにつきましてはサポート対象外とさせていただきます。本事象については今後のアップデートにて修正予定です。